

実施報告

# 広尾町立広尾小学校

\* 学級数 10 \* 児童数 253

支援員学校名	職名	氏名	専門分野
北海道広尾高等学校	教諭	伊藤 茜	生物

【ねらい】 小学校第4学年「水のすがた」の単元において、水を沸騰させると水蒸気を出すことを理解させるとともに、実験器具としてアルコールランプを正しく使用できる力を身に付ける。

【日時】 3月14日 10:35～12:10

【場所】 広尾小学校 理科室

【参加者】 第4学年1組・2組 52名

【内容】  
・アルコールランプの正しい使い方  
・アルコールランプを用いた加熱実験の工夫



## 【本事業の成果を活用した授業の改善】

今回、支援員から学んだことを踏まえ、「実験器具を安全に使用方法」や「実験を効果的に行う工夫」に取り組んだ。

### 1 アルコールランプの正しい使い方

#### (1) 指導の工夫

- ・アルコールランプの点火・消火を特定児童のみとならないよう、全員が必ず一度は点火・消火を経験するように促す。
- ・点火の仕方・消火の仕方や使用前のアルコール量の点検など、使用上留意を要する点は、事前に拡大写真や図を使い全員で確認する。

#### (2) 授業での児童の様子

- ・アルコールランプの使用前に、アルコール量や蓋のひび割れ、芯の長さを確認すると同時に、点火・消火の仕方を十分に注意しながら実施することで、安全にアルコールランプを使用することができた。
- ・全員が必ず点火・消火を経験することにより、正しい点火・消火方法を習得することができた。

### 2 アルコールランプを用いた加熱実験

#### (1) 指導の工夫

- ・水を加熱する際に発生する水蒸気を利用し、空のペットボトルとフラスコをつなぎ、水蒸気がペットボトルを押し広げる手応えの変化の様子を観察させ、興味・関心を高めるようにする。

#### (2) 授業での児童の様子

- ・加熱の際の水の変化の様子だけでなく、ペットボトルを押したときの手応えがどんどん強くなる様子に子どもたちは興味津々であった。

